



学校だより3月号

令和5年2月28日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

みんなでチャレンジ 六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

新たな学校教育目標について

校長 妹尾 正彦

明日から3月に入ります。6年生は卒業式まで13日、1～5年生は修了式まで17日の登校となります。今年度は個人面談を2月に行いましたが、その中で子どもたちの学校での様子がしっかりと伝わりましたでしょうか。子どもたちの頑張ったこと、成長したこと、課題として残ったことを保護者の皆様と共有した上で、子どもたちの更なる成長に向けて共に取り組んでいきたいと思っています。年度末のお忙しい中、個人面談で御時間をいただきまして、ありがとうございました。

さて、本校の教育は、教育目標「地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます」、そして「みんなでチャレンジ 六つ川の子」をキャッチフレーズにして、子どもが社会人となる頃に、たくましく生きていくために必要な力の育成に重点をおいて取り組んできました。その力というのが、「主体的に考え学ぶ力」「自己有用感と思いやりの心」「たくましく生きる力」「協働する力」「チャレンジする態度」です。

今年度、これまでの方向性は引き継ぎながらも、取組の成果と反省から、職員全員で、学校教育目標の見直しを行っています。もう一度、子どもたちに卒業時にはどのような姿に育ってほしいかをイメージし直し、そのためにはどのような力を育てなければならないかということを考え、それを学校職員だけでなく、子どもたちや保護者の皆様、そして地域の方々が、いつでも意識できるような学校教育目標にしたいと考えています。

横浜市から今年度出された「第4期横浜市教育振興基本計画」の3つの視点の2つ目に「みんなの計画・みんなで実現」というのがあります。その記述の中に「もはや学校だけで行う教育は限界にきている」ということがはっきりと書かれています。今、子ども達は多様化しています。様々な個性・特性を持った子どもたちがいます。何か問題が起きた時、教室で担任が指導をすれば、みんなが理解・納得して、「問題は即解決」なんてことはまずありません。また、社会は急激に変化し、子どもを取り巻く環境も急速に変化しています。それに伴い、新たな問題が次々と生まれてきます。そして、学校は子どもたちの指導のために、次々とそうした問題への対応を求められます。その結果、日本の教育は「学校だけで行う教育は限界にきている」という状況に追い込まれてしまっているのです。だからこそ、子どもに関わる大人全てが方向性を揃えて、誰かに任せるのではなく、それぞれが責任をもって指導することが大切なのです。だから、「みんなの計画・みんなで実現」なのです。本校の学校教育目標の見直しの理由の1つもそこにあります。

新しい学校教育目標については、3月22日に行います学校報告会や、次年度の学校説明会でお話をさせていただきます。そして、先日行いました保護者の皆様への学校評価アンケートでの御意見、子どもたちの学校評価アンケートの結果、そして地域・保護者の代表者からなる「まち」とともに歩む学校づくり懇話会「くすのき会」での御意見を受けて検討を重ねた次年度の本校の教育方針につきましても合わせて、ご説明させていただきます。

次年度も、あたたかな地域の人たちや豊かな自然との関わりを大切にしながら、充実した教育活動を目指していきます。子どもたちが、友だちと関わりながら助け合ったり、自分の目標に向かって挑戦したりして、楽しい学校生活が送れるよう、教職員一同力を合わせていきます。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動に御理解いただき、子どもたちの健やかな成長のために、共に取り組んでいただければと思っています。